



14歳が見つめる先は、世界



大会での横山さん

7月10日から13日にアメリカのカリフォルニア州サンディエゴで開催されたIMGA世界ジュニアゴルフ選手権の13・14歳男子の部に、姫城中学校2年の横山翔伍さんが日本代表選手として出場しました。本大会で横山さんは、日本勢4年ぶりの部門5位に輝きました。

IMGA世界ジュニアゴルフ選手権は、56カ国約1,200人ものジュニアゴルファーが参加する世界一決定戦。年齢別の各部門に1人から2人が日本代表として参加します。

smiling faces of miyakonojo

# 人の風景

日本代表選抜大会の西日本決勝大会で準優勝し、日本代表に選ばれた横山さん。「代表に決まった時、アメリカに行き、プレーができることがうれしかった。世界大会に参加して、日本とルールや芝の質の違い、難しいところも多かったが、世界レベルの選手たちと一緒にプレーできていい経験になった」と振り返ります。

父親である良則さんのプレーする姿に憧れてゴルフを始めた横山さん。幼少期からおもちゃのクラブとボールで遊び、ゴルフに親しんでいました。3打で決めればプロになれるといわれるコースを小学2年生で攻略。小学3年生では、現役プロゴルファーの平均値のボール回転量を出すなど才能をのぞかせていました。良いタイミングを捉えて打つことを身に付けているので、ボールが真っすぐ飛ぶとプロゴルファーに褒められたこともあるほどです。

現在、父親の指導の下、週に3回程度のラウンドを行うなど、毎日の練習で技術を高めている横山さんは「1打目の飛距離が出ると、2打目以降にグリーンを狙いやすくなる。パター1打でもスコアに影響があるところが楽しい」とゴルフの魅力を話します。



IMGA世界ジュニアゴルフ選手権  
13・14歳男子の部 5位

横山 翔伍さん

(姫城中学校2年)

今回の結果により、本大会の来年のシード権獲得が有望な横山さん。「来年の世界大会は、タイガーウッズが2008年に全米オープンで優勝した難しいコース。参加できれば、高校・大学生の選手を相手に回れるのでわくわくしている」と目を輝かせます。そして、将来の夢は「マスターズなど4大メジャー大会で優勝すること」と意気込んでいました。